

相談支援事業所「はしわたし」平成28年度事業報告

はじめに

計画相談については、平成29年3月現在57名の利用者が登録をしている。また、児童の利用者は、14名計画相談しており、合計71名の計画相談対象者となる。

近年の傾向としては発達障害があり二次障害としてのうつ病など精神障害の増加がある。川湯の森病院からの紹介で一般相談の対象となる方も多く、障害福祉サービスの受給者証作成、精神保健福祉手帳の作成、自立支援医療費受給者証の作成、障害年金の申請サポートなどを行っている。精神障害、大人のひきこもり、児童に於いては発達障害の増加が著しい。一般相談から地域活動支援センター、その後福祉的就労へと移行できる様サポートしている。現在第一相談員として吹田相談支援専門員、第2相談支援専門員として吹田美佳 1名の相談支援専門員を配置し業務を行っている。

主な活動

①一般相談

- * 弟子屈町からの委託事業で保健師や事業所等関係者と連携を図り利用者の相談支援に努めた。
- * 利用者・家族等からの相談に応じた。

②計画相談

- * サービス利用計画の作成・モニタリングを実施した。
- * サービス担当者会議を開いて関係者の意見を聞いたり調整を行った。
- * 関係機関等への連絡調整を図った。

③自立支援協議会の事務

- * 保健師と相談支援事業所を構成メンバーとする相談支援部会で活動した。

④地域資源の改善・開発

- * 介護サービスとの連携を図った。
- * 福祉サービスにつながるまでの間、地活を利用するなど社会資源を活用した。

平成28年度特定計画相談支援モニタリング履歴

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 年間合計 |
|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|------|
| 計画作成 | 4 | 2 | 8 | 3 | 2 | 5 | 7 | 5 | 1 | 1 | 3 | 18 | 59 |
| 継続 | 22 | 15 | 18 | 19 | 16 | 17 | 25 | 16 | 28 | 26 | 17 | 9 | 228 |
| 計 | 26 | 17 | 26 | 22 | 18 | 22 | 32 | 21 | 29 | 27 | 20 | 27 | 287 |

(所感として)

他者に排除されていると感じている人、自分を取るに足りないものと思っている人、
社会が自分に冷たいと感じている人、自分の中に閉じこもり外に出られない、仕事にも行けない、
生きているのが苦しい、そのような辛い思いを抱えている人が沢山いらっしゃいます。
あせらず、むりせず、ゆっくりと、少しずつ心の燃料を貯めて行けるように、
生きている喜びや笑顔を取り戻せるように、微力ながら相談を受けさせていただいています。
社会の中の見えない偏見などの壁、それは差別されていると感じている側の心の中にも大きくあります。
できない、持てる者持たざる者、頭の良い悪い、それが絶対的な価値観でしょうか？
そのような目に見えない壁を取り払い、お互いを尊重しあい、活かし合える、
従来の視点を変える端緒になればと思います。
その意味で、てつなぎは人間の生きる意味を考える、価値観を考える、偏見を変えていく、大きな
社会的役割があると考えています。
てつなぎが、偏見の無い新しい見方を、一人一人が活かし合える社会的包摂を実現をしていくための、
小さな灯りになってくれることを願います。